

令和6年第10回函館市教育委員会定例会 会議録

- | | | |
|---|------|--|
| 1 | 日 時 | 令和6年（2024年）10月16日（水） 午後2時20分 |
| 2 | 場 所 | 北海道教育センター2階中会議室（1） |
| 3 | 出席者 | 藤井教育長，木村委員，小葉松委員，國谷委員，神田委員 |
| 4 | 欠席者 | |
| 5 | 事務局 | 土生生涯学習部長，堤学校教育部長，宮田生涯学習部次長
金野教育政策推進室長，川崎管理課長，櫛田教育政策課長 |
| 6 | 傍聴者 | 0人 |
| 7 | 付議事項 | 別紙議事日程のとおり |

■藤井教育長

- 開会宣言 午後2時20分
- まず、日程第1，議事録署名人の指名について、木村委員，小葉松委員を指名する。
- 次に日程第2，月間事業報告について、事務局の動きについて報告を求める。

■生涯学習部長

- 10月6日だが、史跡垣ノ島遺跡および縄文文化交流センターで「はこだて縄文まつり 2024 in 垣ノ島」が開催された。
- 次に、14日だが、2024函館マラソンコミュニティランニングが千代台公園陸上競技場で開催され、小学生から70代までの計231名にご参加いただいた。
- また、この期間において、資料に記載のとおり、参考資料を配付している。

■藤井教育長

- 次に、日程第3，議案第1号「令和6年度教育委員会の事務の点検および評価報告書（案）の決定に関し、議決を求めることについて」学校教育部長から説明を求める。

■学校教育部長

- このたびの教育委員会の事務の点検および評価については、函館市教育振興審議会において、3回の点検評価部会，2回の審議会での審議を経て，9月27日付けで答申があったことから，点検・評価の結果と併せて，報告書の最終案として取りまとめたものの決定に関して議決をいただこうとするものである。
- なお，函館市教育振興審議会からの答申については，171ページ以降に掲載している。審議会からは，各事業については，社会情勢や教育を取り巻く環境の大きな変化を踏まえて改善を図りつつ，その内容については，市民への継続的な周知に，より一層努める必要があるといった意見をいただいている。
- 今後の予定については，議決をいただいた後，市議会全議員に報告書を配付するとともに，教育委員会ホームページへ掲載し，評価結果を市民へ公表したい。

■藤井教育長

- 議案第1号について、何かあるか。

■國谷委員

- これは、評価にばつがついてしまって、継続にならないというようなものは、何かあるのか。

■櫛田教育政策課長

- 16ページに今年度の総合評価の状況が記載されている。二重丸が14事業、丸が119事業、△が9事業なっており、ばつに関しては0となっている。

■國谷委員

- 承知した。

■藤井教育長

- 他になにかあるか。

■小葉松委員

- 今回の、報告云々と少し違う話になるかもしれないが、基本目標3に函館への愛着や誇りと未来へ飛躍する力の育成とあるが、その中に、多分あまり触れられていなかったのが博物館や資料館の話だ。教材や、学校の副読本だとかの話はでているが。私は、博物館が好きなので、いろいろな町の博物館を訪問しており、この前も函館博物館の特別展に行ったが、基本博物館が、函館の場合は大人仕様である。大人に対しては、読めばわかるようになっているが、小学生が来たときに、例えばこの特別展が楽しめるのかといたら、難しい。つい先日、仙台市博物館がリニューアルされたということで立ち寄ったが、要するに大人仕様の説明のとなりに子供向けの解説がほぼ全ての展示に、フリガナをふって、この展示はこういう意味なんだよというのを子供が見やすいような少しポップな感じで展示されていたりする。ほかに、例えば釧路市博物館だとかいくつかあるが、夏休みや長期休暇中は子どもの入場料を無料にするとか、そういう地域の歴史や情報を発信する施設で、子どもたちのより多くにおいでというアピールをしている施設をよく見かける。多分市内のそういう施設を見たときに、私が見た範囲ではあまり、子ども向けアピールというのが函館の場合は少なく、ただ地域の博物館、資料館というのは、その地域の大人たちが、次の世代にどんなものを伝えたいのかというのを、そういうのを展示する場所じゃないかと私は思っているの、他の自治体と比較したときに、函館の愛着や誇りという項目の中に、ぜひ、市の施設である場所が、子供たちにどんなことをアピールできるかという、そういう項目をつくった方がいいよと思う。特に、博物館のリニューアル等が検討されているなかで、生涯学習の中には出てくるが、大人は今のやり方でもいいとして、子供たちに対して、そういう施設のアピールというのが、函館市に関しては、私は全然努力が足りないというように日ごろ感じているので、本来そういう項目ではないと思うが、そういう観点で、できればこの先やり方をかえていただけると嬉しいなというように思ったので、一応この場を借りて意見させていただいた。

■藤井教育長

- ご意見として伺った。他にないか。議案第1号は原案のとおり決定してよいか。

(意見なし)

- 議案第1号について、原案のとおり決定する。

■藤井教育長

- 次に日程第4、報告第1号「第34回函館市青少年芸術教育奨励事業受賞者の決定について」生涯学習部長から説明を求める。

■生涯学習部長

- 函館市青少年芸術教育奨励事業について、音楽、書、美術、文学部門の4部門すべての受賞者が決定した。
- 音楽部門では、総数26人の応募があり、8月18日に芸術ホールで開催した音楽コンクールにおいて受賞者を決定し、書部門では、総数175人の応募があり、9月8日に亀田交流プラザで開催しました「席書大会」において受賞者を決定した。美術部門には、総数187人、文学部門には、総数233人の応募があり、それぞれ9月13日と25日に本審査を行い、受賞者を決定した。また、10月19日から21日にかけて芸術ホールギャラリーにおいて「児童生徒 書・美術展」を開催し、書部門・美術部門受賞者の作品を展示するほか、音楽部門の金・銀・銅賞入賞者の演奏を放映、また、文学部門の金・銀・銅賞入賞者の作品集を配布する。

■藤井教育長

- 報告第1号について、何かあるか。

(意見なし)

■藤井教育長

- 次に日程第5、報告第2号「令和6年函館市文化賞受賞者の決定について」生涯学習部長から説明を求める。

■生涯学習部長

- 9月25日に開催された函館市文化賞審議会において、箏曲の普及発展と後進育成に尽力された、宮崎 加奈古 氏、歌舞伎の継承普及と発展に尽力された、特定非営利活動法人 初春巴港賑 を、令和6年函館市文化賞受賞者に決定した。
- 贈呈式は、11月1日(金)にプレミアホテル - CABIN PRESIDENT - 函館 で行うが、別途案内を送付するでご出席方よろしくお願いする。

■藤井教育長

- 報告第2号について、何かあるか。

(意見なし)

■藤井教育長

- 次に日程第6、報告第3号「函館市教育委員会が保管するアイヌの人々の遺骨等の移管手続の完了について」生涯学習部長から説明を求める。

■生涯学習部長

- このたび、市立函館博物館および文化財課が保管しているアイヌの人々の遺骨等9件のうち、帯広アイヌ協会へ地域返還した1件を除く8件について、令和6年2月に策定した取扱方針に基づき、白老町のウポポイにある慰霊施設で保管するため、文化庁と協議の上、文化庁および国土交通省と協定を締結し、9月30日に慰霊施設へ移管した。
- このたびの慰霊施設への移管により、博物館および文化財課が保管していたアイヌの人々の遺骨等については、全て当市から移管されたこととなる。
- なお、10月13日には慰霊施設において公益社団法人北海道アイヌ協会主催による鎮魂式が開催され、当市からも博物館長が参加した。
- 今後当市内において、アイヌの人々の遺骨等が新たに発見された際には、今回同様、取扱方針に基づいて適切に対応する。
- また博物館には、ご遺骨をともしない副葬品がまだ相当数保管されていることから、今後、文化庁や北海道アイヌ協会と連携しながら、引き続き検討をしていく。

■藤井教育長

- 報告第3号について、何かあるか。

(意見なし)

■藤井教育長

- 次に、日程第7「令和7年度予算要求について」生涯学習部長から説明を求める。

■生涯学習部長

- 令和7年度予算については、10月から具体的な編成作業が始まっているところであるが、教育委員会として、令和7年度予算では、どのような施策を掲げ、どのようなことに取り組むのかということについて、例年同様、意見交換をさせていただきたいと考えている。
- 資料として令和6年度予算における教育委員会の取組事項について、お配りしているが、資料の内容については、函館市教育振興基本計画に掲げている基本目標ごとに、本年2月に開催された市議会定例会における教育行政執行方針の中で取り上げた具体的な取組事項と令和6年度の予算額を記載している。
- 基本目標1「変化する社会を生きる力の育成」については、重点事項である、「子ども一人ひとりの学びを保障するための人材配置」として、不登校生徒支援のための非常勤講師、特別支援教育支援員やスクールカウンセラーなどの人的支援の取り組みや、デジタルAIドリルの運用など、ICTを活用した取り組みを記載している。
- 基本目標2「地域とともにある学校づくりの推進」については、コミュニティ・スクールの推進のほか、部活動地域移行等推進事業費や、学校施設の改修・修繕などを記載している。
- 基本目標3「函館への愛着や誇りと未来へ飛躍する力の育成」では、郷土学習推進といった函館の良さを感じることのできる教育活動などに係る取り組みを記載している。

- 基本目標４「生きがいを創り出す生涯学習の推進」では、市民の生涯にわたる学習活動の場を提供、学校開放などを記載している。
- 基本目標５「心の豊かさを育む文化芸術の振興」については、文化芸術団体が持続的に活動できるよう、活動費の補助のほか、文化財の保存・活用や世界文化遺産等の活用および受入体制の充実などを記載している。
- 基本目標６「健やかな心身を育むスポーツの振興」では、「函館マラソン」の開催、スポーツ活動の場所としての学校開放、スポーツ施設の整備などに係る取り組みを具体的な取組事項としている。
- 最後に、令和６年度予算の教育委員会所管分の科目ごとの一覧を掲載している。
- この資料を参考としていただき、委員の皆様からのご意見について、来月の定例会で頂戴したいと考えている。

■藤井教育長

- ただいまの件について何かあるか。

■藤井教育長

- 次に、日程第８「今後の主な日程について」管理課長から報告を求める。

■管理課長

- 第１１回教育委員会定例会を１１月５日（火）午後１時３０分から本庁舎５階教育委員室で開催する。また、令和６年度総合教育会議を１１月２５日（月）午後２時００分より本庁舎８階第２会議室で行うので出席方お願いします。
- その他の日程として、函館市文化賞贈呈式を１１月１日（金）午前１１時００分から、プレミアムホテル-CABIN PRESIDENT-函館で開催する。

■藤井教育長

- これで、報告事項を終了する。

■終了宣言

- 午後３時２５分

議事録署名人 木村雅彦

〃 小葉松洋子

調製者庶務係 庭田真由